



成果指標				
成果指標	事業費割合(直接事業費÷営業収益×100)			
指標設定の考え方	事業費割合により、健全な運営状況の把握が可能のため。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	8	8	8	8
実績	1030%	1130%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>水源地は、水道施設の要で重要な施設であり、事故が発生すれば市民生活に重大な影響を与えることとなる。よって、水源地の適切な維持管理を行うことで、限られた水資源の有効利用が図られ、安全で安定した水量の確保ができ、事業の効果は現われる。今後、更なる日常の点検や施設の更新・修繕等、的確な管理計画を立て、重大な事故を未然に防ぎ、適切な維持管理に努めていく必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>水源施設の維持管理経費は、水源の規模や取水量などで異なり、また施設の経過年数によっても違いがある。よって、安全で安定した水を供給するには、適切な施設整備や管理及び効率化を図ることが重要と考える。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題